

ほけんだより

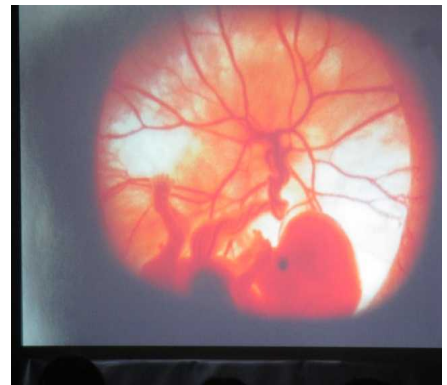
H27.2.17 第1学年・ならの木 性教育号
奈良中学校 保健室

第1学年・ならの木 授業参観「性教育講演会」 「大人になっていく君たちへ～命の誕生をみつめて」を終えて



2月13日（金）、第1学年・ならの木の授業参観では中島助産院 院長 中島桂子先生による性教育講演会を開催しました。長年、奈良中学校の第1学年とならの木の生徒達に、「二次性徴」「性と生について」「命の大切さ」についてお話いただいています。昨年12月には二次性徴（射精・月経）や受精のしくみについて学習した1年生ですが、さらに学習を深めることができましたと思います。

「色々な事情によって、今はお父さんやお母さんと一緒にいられない人もいるかもしれません。でも、あなたという存在は必ず、お父さんの精子とお母さんの卵子から産まれてきた、ということを受け止めなければいけません。命とはそうしてつながっていくものです。あなた達もみんな、命をつないでいくことのできる存在なのです。」という、温かくも凛とした中島先生のお言葉から講演会は始まりました。



「お産はお母さんも赤ちゃんも命がけであること。人は自分で決めて生まれてくること。そして何より大切なのは、今あなたがここにいること」というお話がありました。「皆さんはたくさんの人に支えられここまで生きてこられた」という言葉からは、今までの人との関わり、これからの人との関わり方について考えさせられました。

「人はだれかとつながっていたいと思うもの」、だから相手のことを考えて、思い合うことが大切です。「大人になっていくと自分で考えて物事を決めることができる（みんながしているからは大きな間違い）」、だから自分の行動に対して責任をとることが求められます。そして「我慢も大切だけど、助けを求めてもいい」という中島先生のお言葉が印象的でした。

（昨年12月のアンケート結果では）男子の16%が精通を迎え、女子の76%が初潮を迎えています。今まさに心も体も著しく成長している時期で、なかなか言葉にはできない沢山の不安や悩みを抱えていることと思います。子ども達に対して大人が真剣に「性について」「命について」伝えるべき時期だと思います。今回の性教育講演会が、お子様とお話しいただくよい機会となればと願っております。

** 生徒の感想 **

- ・私は「自分たちが命をつないでいくんだ」ということが心に残りました。母にはとても感謝したいと思いました。本来ならば生まれてくる命が母の中で亡くなってしまったことは、とても悲しかっただろうと思いました。今後は命について、もっと真剣に考えたいと思います。【女子】
- ・私たちの体や心は日々、大人に近づいています。だから、性について面白半分話題にするのではなく真剣に考えていきたいと思いました。太っていて、やせようやせようと思ってしまうので、食事バランスに気をつけて健康に生活したいです。【女子】
- ・命の大切さについて学びました。育ててくれた人に感謝したいです。人を大切にできるように生活したいです。【男子】
- ・身長など体のコンプレックスも、あまり気にしなくていいんだと思いました。幸運に幸運が重なり自分が産まれたということをしっかり理解して生活していきたいです。【男子】
- ・色々なつながりと奇跡があって自分が生まれてきていると思ったので、これからは感謝したいです。【男子】
- ・ふざけて（性のことを）考えるのではなく、真面目に考えなきゃいけない一面もあるということがよく分かりました【男子】



裏面に続く

- ・先生の「人は一人ひとり違って良い」という言葉が印象に残りました。私もコンプレックスがあって、何気なくその話題が出ると気にしてしまっていて悲しくなります。でも成長途中なので、あまり心配しないようにしたいです。【女子】
- ・私の心に一番残ったのは、「今、無理にやせたりしないこと」の話です。最近太ったと感じてご飯の量を少なくしていたけれど、そういうことはしなくて良いと分かりました。そして、自分を産んでくれたお母さんに感謝したいと思いました。【女子】
- ・命の誕生はとってもすごいことで、生まれたくても生まれてこれないこともあり、とても悲しいことだと分かりました。【男子】
- ・人を産むことは育てる責任をもって産むべきだと思いました。また、自分を産んで育ててくれた人に感謝の気持ちをもって、これからも生活していきたいです。【男子】
- ・産まれてくるときに障害があって産まれてくることもあるので、それは悲しいことだなと思いました。そんな人に優しくできるようになりたいです。【男子】
- ・私たちは、体とともに心が成長している最中だと分かりました。そのため傷つきやすく、心も変化しやすくなっているけれど、相談できる人を見つけて、困ったときや悩み事は一人で抱えこまないことが大切だと分かりました。【女子】
- ・ちゃんと生まれてこられる子も障害をもって生まれてくる子も、ちゃんとした人間だから、バカにしません。これからは産んでくれたことに感謝して生きていきたいです。【女子】
- ・僕たちは今、二次性徴の途中で、大人になるための準備をしていることが分かりました。一人一人成長には差があるので、そのことを面白おかしく話題にしないで、命の誕生のための大切なことだということをしっかりと受け止めたいです。【男子】
- ・生まれてきたけど亡くなってしまった「たくみくん」の話が印象に残りました。私たちみたいに健康で何の障害のない人がいる中で、そういう人もいることに少し悲しみがありません。そして、私たちは色々な人に支えられて生きていることを改めて感じました。【女子】



**** 保護者の感想より ****

- ・息子を出産したときのことを思い出すとともに、いつまでも子どもだと思っていた息子が思春期になり、大人に近づくにつれて親が言いづらいことを、今回の中島先生の講演を通じて、何か感じてくれたのではないかと考えています。自分を大切にするとともに、周りの友達、大切に想う人を優しい気持ちをもって接してくれるといいなと思いました。体の成長、心の成長をバランス良く、素敵な男性になってくれると母として嬉しいです。
- ・親として子どもに伝えなければならないことを代弁していただけたような気がします。自分が生まれてきたことで、親だけでなく周囲の人がどれだけ喜んだか、どれだけ大切に育ててきたかを子どもに分かってもらうことは難しいことです。反抗期でもありケンカばかりですが、自分を大切にできる人間になってほしいと思います。そうすればきっと他人も大切にできる人間になると思うので。
- ・保護者である私たちも子どもの様子の変化を見逃さず、しっかり相談に乗ってあげられる態度を見せないと、と思いました。反抗期の今、正直、かわい気がないとにくたらしくなることもあります。やはり（この子は）無くてはならない存在です。
- ・自分で生まれてくることを決めてくるのは、初めて聞くことで驚きました。命の大切さや他の人を大切にすることを考えるきっかけになるといいなと思いました。限られた時間の中でとてもよいお話がぎゅっと詰まっていた感動的でした。
- ・お話を聞きながら、ずいぶん前の出産の頃のことを思い出しました。先生のお話はどれも大切なことでしたが、親からはなかなか伝えにくいことが多く、子どもたちにとって良い経験になったと思います。親の思いを代弁していただいたことも多く、子どもたちに伝わってくれればと期待しています。
- ・精子の数は？はちょっと恥ずかしくなりましたが、興味津々の話ではなく、とても大切な話をしてくださいました。成長期にある子どもたちに大変ためになるお話だったと思います。
- ・沢山の話を分かりやすくしていただけました。子どもたちだけでなく、私たちも色々学べました。時間が短く、もっと聴きたかったです。子どもたちの感想も聞きたいです。

